

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府文化財センター

[1]

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
弥生文化博物館入館者数	人	19,000	15,249	△ 3,751

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応	
①	小中学校団体来館者の減少			<ul style="list-style-type: none"> 小中学校団体の校外学習等の来館について、H29年度からR1年度の過去3か年度実績（4～9月）平均約6,000人を想定していたが、依頼が減少し、2,635人に留まった。 下記想定値はH29年度からR1年度の過去3か年度（コロナ禍以前）実績（4～9月）に基づいて算出。 						→	弥生文化博物館事業はR4年度末において指定管理期間満了。
	関連項目名	入館者数	単位	人	R4当初想定値	6,000	R4実績値	2,635	差		
②										→	
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差		
③										→	
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差		

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府文化財センター

[2]

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
近つ飛鳥博物館入館者数	人	75,500	72,663	△ 2,837

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応	
①	夏季特別展入館者の減少			<ul style="list-style-type: none"> ・8~9月にかけて実施する展覧会の入館者数を13,500人程度見込んでいたが、実際の入館者数は3割減となった。 ・下記想定値はH29年度からR1年度の過去3か年（コロナ禍以前）実績に基づいて算出。 						近つ飛鳥博物館事業はR4年度末において指定管理期間満了。	
	関連項目名	入館者数	単位	人	R4当初想定値	13,500	R4実績値	9,405	差		
②											
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差		
③											
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差		

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府文化財センター

[3]

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
埋蔵文化財調査担当者一人あたりの調査面積	m ²	2,230	1,813	△ 417




未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	事業者側の規模縮小や遅延			<ul style="list-style-type: none"> 事業者側の計画変更に伴う調査面積減や調査着手遅延による調査面積減のため。 下記想定値は目標設定時の調査面積と人員貼り付け計画に基づいて算出。 						令和5年度に予定されている事業に対し事業者と綿密な進捗協議を行い、調査面積減を防ぐと共に新規事業については柔軟な人員配置により対応する。
	関連項目名	調査面積	単位	m	R4当初想定値	2,198	R4実績値	1,813	差	
②										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	
③										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	

■ 目標値未達成の要因について

法人名 公益財団法人 大阪府文化財センター

[4]

成果測定指標	単位	R4年度目標値	R4年度実績値	目標値との差
当期経常増減額	千円	△ 130,487	△ 155,168	△ 24,681

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）					要因分析を踏まえた今後の対応
①	埋蔵文化財調査事業の事業収益の減少および事業費の増加			事業者側の規模縮小や遅延に加え、年度下半期にかけて、受託事業量の上積みを図ることができず、受託事業収入が伸び悩んだため（約▲22,500千円）。					 <p>令和5年度より当該事業部門の人員を拡充し、より多くの事業を受託する予定であることに加え、新規事業についても、柔軟な人員配置により対応する。</p>
	関連項目名	当期経常増減額	単位	千円	R4当初想定値	△ 130,487	R4実績値	△ 153,099	
②	日本民家集落博物館事業の事業収入不足による借入金の発生			入館料等の事業収入不足のために他会計からの借入金が生じたため。					 <p>ホームページ・SNS・動画配信等を通じて博物館の存在と魅力を広くPRし、認知度を高める。学校団体への直接的な誘致活動を実施する。来館者および施設利用者の増加を図ることにより、事業会計内の収支相償を目指す。</p>
	関連項目名	当期経常増減額	単位	千円	R4当初想定値	0	R4実績値	△ 7,339	
③									
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		